

芸術振

特定非営利活動法人 大分県芸術文化振興会議
通巻第130号 2010（平成22）年12月28日発行

第12回大分県民芸術文化祭開幕行事「長唄・三味線演奏会」



大分県長唄連盟会員全員による「繰り三番叟」

人間国宝・家元勢揃い名演奏家による
長唄・三味線の醍醐味「勸進帳」他



出演者全員による創作長唄新曲
「吉四六物語」



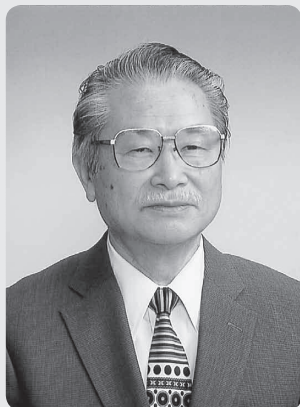
三味線と洋楽のコラボレーション「連獅子・越後獅子」



次世代へと継承・大分県立芸術文化短期大学三味線サークルとの共演「日本の名歌」

理事長に就任して

わた なべ きょう えい
渡 辺 恭 英



略 歴

1936年 大分県朝地町生まれ／1960年 大分大学学芸学部卒業
1960年 大分県立大分舞鶴高校教諭（大分大附属中に派遣勤務）
1962年 公立・国立中学校教諭
1978年 大分県教育センター研究員
1981年 県立大分雄城台高校教諭（高文連理事長）
1988年 大分大附属中学校教頭
1993年 大分大教育学部助教授／同 教授
1997年 大分大学附属幼稚園長（併任）／2000年 定年退官
2000年 朝倉文夫記念館長（非常勤）／2005年 退任
2000年 大分県造形教育研究会長／2009年 退任
2001年 別府溝部学園短期大学（特任教授）／2007年 退任
2005年 大分県美術協会長／2009年 退任

現在

感性学会副会長…2010年（平成22年）～
美術家連盟会員…1995年（平成12年）～

6月の総会で理事長に選任されました。よろしく願いいたします。前任の佐藤朱音理事長殿には、法人化後の手探り期、2期4年に亘るご労苦に感謝し、厚くお礼申し上げます。

さて、芸振の定款には「～略～県民の心豊かで創造的な生活の実現や大分県の芸術文化の振興に寄与することを目的とする」と明記されています。ところで、近年は高齢化や雇用問題等による社会不安や閉塞感が充満しています。誰もが暮らしにゆとりや癒しを渴望している状況を考えて、**“心豊かで創造的な暮らしの実現”**に寄与出来る芸振とは一体どのような芸振の姿を思い描けばいいのでしょうか？ 意義と役割・事業など、理事の皆さん方と共にしっかり議論をしていかなければならない時期に来ているように思います。

昭和39年、任意団体として発足した芸振（大分県芸術文化振興会議）は、平成18年に県の手を離れ、NPO法人となりましたが、私どもはこの時点で旧芸振の事業をそのまま引き継いで参りました。芸術文化を取り巻く社会状況の激動期にあって、切磋琢磨、不断の活動を展開してこれた会員の皆様方に支えられてきた芸振です。しかし、事業の拡大や関連行事の多様化に伴い、連絡・調整・紹介事業だけでも、事務量が膨張し、対応経費は限界を越えてそうになってきました。新たな事業を企画するとなればなお更です。要は財源の問題です。自主運営と財政基盤の自立を柱としている芸振は、ある種の企業で、各理事・監事は、所属団体の代表ではなく、もはや全員経営者です。会員の声を広くお聞きする場として評議員会の必要性もここに起因しているわけです。

事業経営やマネジメントなど凡そ苦手な芸術家集団ですが、今後は自らの事業収益を上げることによって、足腰を強くし、財政基盤をしっかり固めなければなりません。理事、監事共々慣れない経営に一丸となって取り組んでいるところです。会員の皆様には芸振のこのような現状を充分ご理解いただき、芸振文化事業への積極的参加と芸振関連事業への全面的なご協力をお願いいたします。

平成22年度総会報告

平成22年度通常総会を6月10日(木)15:00から、大分第一ホテル8F九重の間で開催。久保木理事の進行で開会、佐藤朱音理事長のあいさつにつづき、ご来賓の首藤博文大分県企画振興部長から祝辞をいただいた。

出席者は会員総数305に対し196（内委任状87）で定足数を満たし成立。議長に大分県番傘川柳連合会の服部談亭（泉一徳）氏、議事録署名人に日本美術刀剣保存協会大分県支部の菅原二善氏ならびに大分県美術協会書道部会の西村桃霞（節子）氏、選挙管理人に日韓現代美術交流展の柚野朝男氏を選任した。

議事は第1号議案と第2号議案は関連議案につき一括審議、質疑なく承認された。第3号議案の定款変更は、第13条2項、同じく13条に3項を付加、第14条2項、4項を変更し、芸振をより迅速かつ円滑に運営していくため理事長を補佐する副理事長を2名置くこと、監事3名に代表監事1名を置くことを説明、質疑なく承認された。第4号議案、第5号議案は関連があるので一括審議、芸振文化事業のタイトルがわかりにくいので落語をつけたらと意見が出され、再度検討することになった。また、補助金計画書を出し忘れたが引上げてもらえないかと要望が出されたが、総会で頼めばなんとかなるという事実を作りたくないで期日を守ることを了解してもらう。その他2件の質問も含めて、原案のとおり可決された。第6号議案役員報酬についても原

案通り無報酬で承認される。第7号議案役員の選任について、まず今期で退任する理事4名を紹介。ついで選任方法について前回20年度と同じ方法（選挙管理人による役員選考委員会案の提案）で行うことを承認、柚野選挙管理人が役員選考委員会案を提案、提案通り決定する。第8号議案その他は特に提案がないため、議事を全て終了する。

ついで、今期で退任する理事を代表して佐藤朱音氏があいさつ。選任された役員は全員就任を承諾、理事会を開催して理事長に渡辺恭英氏を互選、渡辺理事長が辛島光義、戸口勝山両氏に副理事長を指名、監事3名が代表幹事に佐藤教明氏を互選、総会場で報告、承認された。新役員を代表して渡辺新理事長があいさつし、総会の全てを終了した。

引き続いて17:00から、渡辺新理事長のもと会員交流会を開催した。会員有志のほか県文化スポーツ振興課のみなさんも参加いただき、和やかな交流会でした。



新 役 員 等 名 簿

名 誉 会 員	秋月 睦男
	河野 彰
	小長 久子
	菅 久
	十時 良
	中沢とおる
	宮瀬香多士
	脇坂 秀樹
	脇 正人

顧 問	佐藤 朱音（前理事長）
参 与	中野 幸和（前理事）
	川上 賢明（前理事）
相 談 役	狭間 久（前理事）

理 事	理事長	渡辺 恭英（大分県美術協会）
	副理事長	辛島 光義（大分県音楽協会）
		戸口 勝司（大分県美術協会）
		伊勢 方信（大分県歌人クラブ）
		大崎 輝彦（大分県美術協会）
		小川 善規（大分県美術協会）
		清末 典子（大分県民演劇制作協議会）
		工藤 紘喜（大分県吹奏楽連盟）
		久保木真人（大分県美術協会）
		倉田 紘文（大分県俳句連盟）
		柴田 束（大分県民踊連盟）
		土谷 正公（大分県音楽協会）
		恒川 睦子（大分県日本舞踊連盟）
		永見 政子（大分県音楽協会）
		二宮 昌昭（大分県三曲協会）
		松井 猛（大分県民謡研究会萬謡会）
	事務局長	日名子金一郎（大分県美術協会）

監 事	代表監事	佐藤 教明（NPO法人大分県書写書道指導者連合会）
		上田 耕作（大分県軽音楽連盟）
		首藤 悦爾（大分県児童文化研究会）

評 議 員	太田 宅美（大分県歌人クラブ）
	松村 勝美（大分県俳句連盟）
	服部 談亭（大分県番傘川柳連合会）
	南雲 玉江（大分県連句協会）
	足立 佐与（大分県俳画協会）
	鈴木 忠実（大分県美術協会日洋彫工部会）
	藤井 青霄（大分県美術協会書道部会）
	伊東南海男（大分県美術協会写真部会）
	樋口 義行（NPO法人大分県書写書道指導者連合会）
	脇谷 直樹（大分県音楽協会）
	宮本 修（大分県合唱連盟）
	三代 朱山（大分県三曲協会）
	岡村 隆夫（大分県吹奏楽連盟）
	野依 修見（大分県太鼓連合）
	小野 美紀（大分県県民オペラ協会）
	竹永 敏郎（大分県民謡連盟）
	後藤 凜霊（大分県吟剣詩舞道総連盟）
	志賀佳数雄（大分交響楽団）
	御沓 幸正（大分県新舞踊連盟）
	花柳笹良志（大分県日本舞踊連盟）
	伊坂 晴美（大分県民踊連盟）
	後藤 智江（おおいた洋舞連盟）
	久原 淳子（大分演劇の会）
	油布 玲二（大分県児童文化研究会）
	谷村 育子（能を楽しむ会）
	神志那弘江（華道家元池坊大分支部）
	野田 淳一（日本フラワーデザイナー協会大分県支部）
	河野多加志（大分県高等学校文化連盟）
	橋詰 正三（大分県中学校文化連盟）
	足立 武徳（豊後大野市文化連盟協議会）
	猪俣 吞童（前運営協議会会長）
	河野 公記（前運営協議会副会長）

事 務 局	池田 リエ
	橋本 奈穂

団体会員165団体 個人会員143名

平成22年度第1回評議員会協議報告

平成22年9月16日(木) 14:00～ 大分県立芸術会館講堂

司会 久保木理事

1. あいさつ 理事長 渡辺 恭英

2. 自己紹介

3. 評議員会の趣旨と設置の経緯

4. 議長選任

執行部推薦により猪俣吞童（前運営協議会会長）に決定。

5. 協議

(1) 芸振の現況

①NPO法人について

②平成22年度事業の実施状況

③芸振の財源と使途について

④総会後の規定等の変更



意見

現在の事業について

- ・年鑑の印刷代を節約してはどうか。2冊は必要ない団体もある。一度実態調査をしてはどうか？
- ・年鑑はしばらく続けてほしい。機関紙もありがたい。
- ・印刷代も大事だが、外に出しても恥ずかしくないりっぱなものを作る。
- ・芸振が何を含んでいるのかというときに年鑑が必要と思う。
- ・誰に読んでほしいのか決めてから話し合った方がいい。今はターゲットが不明瞭。
- ・アートフラワー協会では支部ホームページを作ったが、一年半で10,000回のアクセスがあった。印刷は部数を減らして、公共の場にきちんと置く。HPアドレスを貼り付ける。また、名前が覚えにくいということなら、“花キューピット”のようなニックネームをつけてはどうか？
- ・インターネットという選択肢もあるが、編集作業の大変さ、労力を考えるとホームページへ移行することができるか、疑問がある。
- ・自主事業について。入場者が少ない。指定席の張り紙をしているのに誰も座っていない。いい事業をしているのだから、今年もがんばってほしい。

評議員会について

- ・二つの柱がある感じがする。議決機関である理事会はおおきなイニシアチブをもってほしい。理事会の方針の中でいくという認識。
- ・年鑑のことなどを話し合うのに評議員はなじむのか？
- ・この会で議決ということは考えていない。今後の参考意見としてみなさんの意見を出してほしい。
- ・芸振の会員は実演家が多い。しかも実演家が事務を執っているところが多いので、たいへんだと思う。これからは事務方を育てる時期に入っていると思う。マネージャー同士の交流を持ってほしい。
- ・会員でも多くの人が集まる会の場合なかなか意見を述べる機会がない。小分けにした集会、研修会があってもいい。
- ・顔と名前が一致したので、今後の協力につながる。これからも開催してほしい。

組織その他について

- ・県は法人化により芸振は自らの活動を自らで支えることを期待している。そのためには会員の協力をお願いしたい。
- ・能楽の団体だが、いろいろな部門と協力してできる。まだ、芸振と文化祭の区別がつかないところもあるので、個々の事業に対して適切なアドバイスがほしい。
- ・任意団体のときから比べると組織の若返りもあった。各ジャンルとも若い人を芸術文化のリーダーとする研修会等、課題として若手、中堅の活動家の養成が必要。
- ・若手の人材育成にがんばっているが、現実はきびしい。
- ・美術展覧会での演奏会など、横のつながりを超えてやってみてはどうか。

県出身真打競演落語寄席

今年度の芸振文化事業は総会でも承認されたとおり県出身真打競演落語寄席を開催します。詳細については同封ちらしをご覧ください。

会員の皆様のご来場をお待ちしておりますとともに、ご家族・ご友人等多くの方々をお誘い下り、前売券の販売にご協力をお願いいたします。

団体会員には5枚以上の前売券を同封いたしてございますのでよろしく願います。

個人会員さんは、ご希望があれば事務局にお申込み下さい。これまでどおりご招待いたします。

平成22年度芸振文化事業

県出身真打競演落語寄席



柳亭 市馬 (豊後大野市出身)	桂 平治 (宇佐市出身)	三遊亭 歌奴 (大分市出身)	三遊亭 鳳志 (玖珠町出身)
---------------------------	------------------------	--------------------------	--------------------------

平成23年 2月19日(土) 13:30開演 13:00開場

i i c h i k o グランシアタ

「県立美術館基本構想答申」にご意見を!!

芸術は永年にわたり、大分県美術協会とともに県立美術館建設促進の活動に取り組んできています。

このたび県は以下のように「県立美術館構想答申」に対する県民意見の募集を行っています。

芸術としては文化芸術活動の拠点となる施設である県立美術館はぜひとも必要であり、新美術館実現のために建設賛同のご意見を多数県にお寄せいただきますようお願いいたします。芸術会員とか美协会会员とかの芸術文化にかかわる資格は関係ありませんので氏名、住所、電話番号を記載して応募して下さい。

県のホームページから応募できますが、県民意見募集用紙は芸術事務局にも準備していますのでご利用の場合はご連絡下さい。

「県立美術館基本構想答申」に対する県民意見の募集について

掲載日：2010年12月15日更新

1 趣旨

大分県では、県民が質の高い芸術文化に触れる機会を充実させるとともに、芸術会館が築後30年以上経過し、施設の老朽化や絵画等の十分な展示スペースが確保できないなどの課題を解決するため、有識者による「大分県美術館構想検討委員会」を設置し、検討を重ねていただいておりますが、この度同委員会から「県立美術館基本構想」を答申いただきました。

つきましては、この答申に対する県民の皆様からのご意見を募集します。

2 公表資料

- (1) 県立美術館基本構想【概要】
- (2) 県立美術館基本構想答申

3 意見等の募集方法及び募集期間

(1) 募集方法

この答申に対するご意見は、住所、氏名、電話番号を明記の上、下記の宛先までお寄せください（住所、氏名の記載がない場合は受付できません。）。

ご意見につきましては、下記に添付して「県民意見募集用紙」のファイルをダウンロードしてご使用ください。

また、募集用紙に答申の概要を記載しています。上記「2 公表資料」に添付してありますPDFファイルを開かず、募集用紙をご覧いただくだけでご意見をお寄せいただけるようにしています。

県民意見募集用紙（ワード）[Wordファイル／86KB]

県民意見募集用紙（一太郎）[その他のファイル／125KB]

ア 郵送の場合：〒870-8501 大分市大手町3丁目1-1 大分県企画振興部文化スポーツ振興課

イ ファクシミリの場合：097-506-1725

大分県企画振興部文化スポーツ振興課

ウ 電子メールの場合：a10220@pref.oita.lg.jp

ホームページの場合：<http://www.pref.oita.jp/soshiki/10220/kenminiken-bijutukankousou.html>

(2) 募集期間

平成22年12月15日（水曜日）～平成23年1月31日（月曜日）

◇郵送の場合は1月31日の消印のあるもので有効とします。

4 その他

(1) 提出された意見等の公表について

募集締切り後、提出されたご意見を考慮して県立美術館のあり方について検討を進めるとともに、ご意見とそれに対する県の考え方を整理して公表します。

なお、ご意見に対する個別の回答はいたしませんのでご了解ください。

(2) 質問等

この意見募集についてのご質問等は、次の連絡先までお問い合わせください。

文化スポーツ振興課 文化活動支援班

Tel：097-506-2058

Fax：097-506-1725

新 入 会 員 紹 介

・団体会員

団 体 名	部門	代表者	事務局長	事務局所在地
ムジチ アルティス 大分	音楽	石山 聡	清水結香	大分市高崎 2 丁目6-11 事務局長方
エンジェルハートコンサート実行委員会大分	音楽	幸美佐子	河野まち子	臼杵市野津町大字老松4234番地 事務局長方
糸の会	音楽	長岡三枝子	同左	大分市高崎町4丁目14-7 代表者方
おおいたオペラカンパニー	音楽	野村高子	永見政子	大分市高崎1-1-14 事務局長方

- ・**個人会員** 佐藤容子（舞踊）、長岡史子（美術）、深町浩一郎、朝来桂一（音楽）、生野正樹（音楽）
原田詩子（音楽）

退 会（申し出によるもの）

- ・**団体会員** 花音・音楽アカデミー、ウィンドアンサンブル荷揚
・**個人会員** なし

お 知 ら せ

◎事務局から

- ・会費の納入はお済みでしょうか？

平成22年度も残り3ヶ月となり、会計の締めとなりました。

会費は年度の開始から1か月（4月1日～30日）で納付いただくようをお願いをしています。未収会費のある会員には、年度末に別途「会費未納のお知らせ」をお送りしていますが、経費も手間もかかります。なるべくお知らせ前に納入を済ませていただきますよう、お願いします。

なお、会費の2年滞納で会員資格が喪失しますので、ご注意ください。

退会される場合は必ず文書（FAX可）で下記事務局までお知らせください。お知らせがない限り、会費の請求をいたします。

どうぞよろしくお願いします。

特定非営利活動法人 大分県芸術文化振興会議

〒870-0035 大分市中央町3丁目6-13 岩尾文具別館2階

TEL：097-536-0522 FAX：097-536-6188 E-mail：info@geishin.jp URL：http://www.geishin.jp/